



2016年第95回全国高校サッカー選手権神奈川予選

鶴見高校の1回戦は関東学院六浦との対戦。7/16(土)13時30分～、我らが母校、鶴見高校のグラウンドで行われた。前日、横浜市では、土砂災害の警戒警報・一部地域では避難勧告も出されていたが、この日は打って変わって素晴らしい試合日和。また、ホームでの公式戦とあって、多くの生徒や保護者が見守る中、試合スタート。



ハーフタイムまで、常に攻め続けている鶴見イレブン。GKのナイスセーブの中には、鳥肌もののガッツが見られたプレーもあり、これは勝利が期待できそうだ。

しかし、何度も訪れるゴール前のチャンスがなかなか得点に繋がらない。非常にもどかしい様子の保護者の方々。



顧問の亀田明広先生は、「ゴール前、落ち着いていけ」と冷静にアドバイスし、部員たちの気持ちを引き締めた。



応援の面々も、同窓会が配布した応援うちわを手に手に、全員が勝利を確信。

しかし、残念ながら後半、ほんのわずかな隙をつかれ1点を奪われた。





「焦るな、まだ行ける、まだ行ける！」「まだ時間あるぞ！」ベンチからの声に励まされ、終盤に再び大きな見せ場を作り出すも一歩及ばず、試合終了のホイッスル。選手たちは、ギリギリまで攻め続ける姿勢を崩さず、健闘を見せてくれた。

途中、接触した場面では、対戦相手であるにもかかわらずお互いを気遣う姿勢が見られ、高校サッカーのクリーンな瞬間を目にし、気持ちが洗われる思いがした。

終了後、教頭の柴田功先生は「チームカラーが似ていて、拮抗した試合になるだろうと予測していたが、その通りのいい試合になった。選手たちは本当によくがんばった」と労った。



部員にとっても、保護者の方々にとっても悲願だったホームでの一勝は、叶わなかった。

しかし、今後も元 Jリーガー、亀田先生の指導の下、よりいっそう強いチームになっていくに違いない。

(HP委員会・部活動支援委員会担当
36期 北川)